

「わがまちの宝」 写真コンテスト入賞作品決定!



世界ジオパーク国内候補地に選定された「浦富海岸」、山陰最古の温泉「岩井温泉」、癒しを与える「田園・山村風景」、地元で受け継がれている「祭事」など、後世へ伝え残したい宝・岩美町の魅力ある様々な資源を写した写真を募集したコンテストの審査会（審査委員長：自治会長代表 小山勝之進東地区自治会長）が開

催され入賞作品19点が決定しました。

町内外から寄せられた作品の審査会（10月22日開催）では、「普段は意識することがない風景でも、写真としてあらためて見ると大切な宝だと再認識する」「どれも後世へ伝え残したい、残すべきだと感じる」など甲乙付けがたい作品の審査が行われました。



各作品に審査員の真剣な眼差しが注がれた



最優秀賞 「網代のいか干し 橋本 諒さん（網代）」

かやしま 農林水産省職員 萱嶋さん

1か月間の 漁業・農業体験記 in 岩美



定置網を営む澤田さん宅（浦富）で
右から二人目が萱嶋さん

私が勤めている農林水産省では、若手の職員を農山漁村に1か月間派遣して実際の農林漁業に従事させるという研修が行われています。私は縁があって9月10日から1か月間、岩美町でお世話になりました。

漁業、特に定置網漁業に興味があったこともあり、まず浦富で定置網の網揚げ作業をさせていただきました。早朝の海上での作業は想像していた以上にたいへんでしたが、貴重な体験になりました。また、ほかにも町内各地で様々な農業・漁業を体験させていただきましたが、東京近郊で育った私には慣れない作業が多く、時にはかなり苦勞しました。ただ、少しずつ効率よく作業できるようになっていくのを実感することができた場合など、なかなか嬉しかったです。

岩美町は美しい海岸線や歴史のある温泉を有しており、とても素敵な町だと思います。また、親切な方がたくさんいらっしゃるのも岩美町の大きな魅力だと感じました。研修中は漁業者・漁協の皆さんや民宿の皆さんをはじめ、本当に多くの方にお世話になり、感謝しております。

我が国の農林漁業の現状には厳しいものがありますが、岩美町で得た経験を生かして、私もその改善を目指して努力したいと思います。1か月間、本当にありがとうございました。
農林水産省 萱嶋 富彦